

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2022ワールドアスレティックス規則並びに2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

(1) 練習は下表のとおりとする。

会 場	種目	9月30日	10月1日	10月2日	使用レーン
本競技場 (ビッグスワンスタジアム)	トラック				
	砲丸投	14:00～16:00	12:30～13:30		Bゾーン
	円盤投	14:00～15:30	11:30～12:30		Aゾーン
	やり投	15:30～17:00	12:30～13:30		
補助競技場 (スワンフィールド)	200m			10:30～17:30	3～6レーン(2コーナー～Finish)
	400m	14:00～16:30	10:00～19:00	10:30～15:40	3～6レーン(Finish～バックストレート)
	400mH			10:00～12:40	5・6・7・8レーン(5台目まで)
	中長距離			10:30～17:30	1・2レーン
	走幅跳	14:00～16:30	10:00～17:00	10:30～13:20	ホーム2ピット
	走高跳			9:30～15:00	Bゾーン
	砲丸投			10:30～14:20	
	円盤投		10:00～16:20 (ターンのみ)		
	やり投		11:00～13:00 (トラック優先)	11:15～13:15(男子優先) 13:15～15:15(女子)	Aゾーン Aゾーン
	小学100m			7:00～10:30	ホーム5～8レーン
小学リレー			7:00～9:00	3～4レーン	
屋内練習場		13:00～16:30	10:00～19:00	7:00～17:30	下記表のとおり

* 芝生でのウォーミングアップは禁止する。

(2) 【屋内練習場】レーンの使用は下表のとおりとする。

レーン	短距離	中長距離周回	ハードル	砂場
1～3	○		—	使用不可
4・5		○	—	

* 屋内練習場では用具を使用しての練習は禁止する。

3 招集について

(1) 招集所は、補助競技場連絡通路を通り、第4ゲート側に設ける。

出場者は補助競技場から招集所へ移動して点呼を受けること。

(2) 種目別招集開始・完了時刻は、以下のとおりとする。詳細は、プログラム記載の競技日程及び招集時刻を参照すること。

(3) 招集の方法

- ① 競技者は招集開始時刻前に、招集所で待機し、係員から点呼を受ける。その際、アスリートビブス、ユニフォーム、競技用シューズ及びシャツ・バック等の商標についての点検やシューズの厚さ検査を受けること。
- ② 腰レーンナンバー標識を受け取り、右腰やや後方にその場で結着すること。
- ③ 競技者は競技役員の指示に従って、入退場すること。
- ④ リレーに出場するチームは所定の「リレーオーダー用紙」(TICに置いてある)に記入し、第4ゲート側招集所に提出する。締切時刻は第1組の招集完了時刻の1時間前とする。
- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権したものと見なす。
- ⑥ 招集は必ず本人が行うこと。ただし、外国人競技者については通訳の同行を認める。

4 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは主催者が配布したものを使用し、配布された大きさのままユニフォームに結着すること。

(2) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を競技者係より受け取り、右腰のやや後方に取り付ける。

(3) 跳躍競技の競技者のアスリートビブスは背部または胸部のみでもよい。

5 ユニフォームおよび携行品の商標について

日本陸上競技連盟制定の「競技会における広告および展示物に関する規程」およびWAラベリング規程に従うこと。
規程に抵触してる場合は、是正を求めるので従うこと。

特にユニフォームについては、国際ルールクラブロゴ規定に則るので注意すること。※GP種目及び女子円盤投に限る

6 競技用シューズについて

競技者が使用するシューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)についてはWA規則TR5を適用する。

※詳細は日本陸連HP参照: [_https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/](https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/)

7 競技について

(1) 不正スタートについて

一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。ただし、小学生はそのレースにおいて2回目に不正スタートをした者は失格とする。

(2) レーン競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。

(3) リレー競走においてマーカーを使用する場合、除去についてはそのチームが必ず行うこと。

(4) 競技に使用する用器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。

投てき用具の持ち込みを希望する者は、競技開始1時間前までにスタジアム正面4ゲートのTICにて検定を受けること。持ち込みは2つまでとする。検定に合格した用具は一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。返却は競技役員の指示に従うこと。

(5) フィールド競技における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

(6) 競技中における助力は「日本陸上競技連盟競技規則第6条TR6」に従い規制される。これに抵触の場合は、審判長から注意・勧告をするが、是正されない場合はその種目から除外される場合がある。

(7) 欠場する場合は、欠場が決定した時点でただちに欠場届に必要な事項を記入し、新潟陸上競技協会にメールまたはFAXで届け出ること。

一般財団法人新潟陸上競技協会
【TEL】 025-257-7636
【E-mail】 nrkk@guitar.ocn.ne.jp 【FAX】 025-257-7691

8 走高跳のバーの上げ方について (天候等の状況により変更する場合もある。)

	練習	バーの上げ方
男子	2m05	2m10 - 13 - 16 - 19 以降2cm
女子	1m60	1m65 - 68 - 71 - 74 以降2cm

9 ドーピングコントロールについて

ドーピングコントロールは世界陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。指名された競技者は医師・競技役員の指示に従うこと。

10 TUE申請について

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は「治療使用特例(TUE)」の申請を行わなければならない。

11 新型コロナウイルス対策について

(1) 選手及びコーチなどチーム関係者はスタジアム正面玄関前で検温を受けること。

(2) 当日検温で37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。

(3) 来場にあたってはマスクを着用し、ウォーミングアップ中および試合中を除いてはマスクを着用すること。

(4) 各所に備え付けのアルコールで下記に従って手指消毒をすること。

【トラック種目】スタート前およびフィニッシュ後 【投てき種目】毎試技前後 【跳躍種目】毎試技前後

(5) 休憩待機所、練習場・招集等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。

(6) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声および近距離での会話を避けること。

(7) 競技会終了後1週間は健康チェックをし、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(一般財団法人新潟陸上競技協会)に報告すること。

12 その他

(1) 更衣室は本競技場内と補助競技場(デンカスワンフィールド)内に設ける。

更衣室は更衣のみに使用し、貴重品は各自の責任で管理すること。

(2) 競技場内を移動する場合は、ADカードを必ず着用すること。

(3) スパイクシューズを履いたまま競技場施設(スタンド等)には入らないこと。

(4) 選手は必ずミックスゾーンを通り退場すること。

(5) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。

(6) 競技会中の傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の処置については、本大会で加入している傷害保険の範囲内とする。

(7) 記録証明書を希望する競技者は、TICにある「記録証発行申請書」に必要な事項を記入し、500円(郵送料を含む)を添えて申し込むこと。

(8) GP種目並びに小学生種目の1~3位には表彰式にてメダルと賞状を授与する。

なお、表彰式参加の選手は上下ジャージを着用し、胸にアスリートビブスを結着し表彰式に参加すること。
4位から8位には賞状を授与するので、表彰室(ミックスゾーンの向かい)に取りに来ること。